

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。
「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			

51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			

保護者向け

放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。					
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。					
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。					
保護 者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。					

の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3 「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。

※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	bamboo		
○保護者評価実施期間	R8年 3月1日	～	R8年 3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36家庭	(回答者数) 29家庭
○従業者評価実施期間	R8年 3月1日	～	R8年 3月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月27日		
○ 分析結果			
	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの特性や興味・関心を大切にし、個々に合わせた支援を行っている点を強みとしています。 ・安心して過ごせる環境づくりを心がけ、子どもたちが自分らしくワクワクしながら活動できるよう支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの特性や興味、関心に応じて活動内容を柔軟に設定し、安心して取り組める環境づくりを行っています。 ・活動が固定化しないよう、季節行事や創作活動、体験活動など様々なプログラムを取り入れる工夫を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが見通しをもって過ごせるよう、活動の流れを分かりやすく伝えるなど、環境面での配慮も行っていきます。 ・個別対応と集団活動のバランスを大切にしながら、それぞれのペースに合わせた支援を心がけています。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・創作活動や体験活動など様々な活動を通して、子どもたちの発想力や自己表現力を育む機会を大切にしています。 ・活動の中で成功体験を積み重ねることで、自信や意欲の向上につながるよう取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成までの過程を大切にし、子どもたちの頑張りや工夫した点を丁寧に認めることで、小さな成功体験を積み重ねられるよう支援しています。 ・さらに、作品の発表や共有の機会を設けることで、自信や達成感を感じられるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子どもたちが安心して楽しく過ごせるよう、支援内容の工夫と改善に努めてまいります。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆さまとの情報共有や連携を大切にし、ご家庭の様子も踏まえながら、子どもたちの成長を継続的に支援できる体制づくりに努めています。 ・職員間でも情報共有を行い、チームで支援を行っていることも当事業所の強みです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子どもたちが安心して楽しく過ごせるよう、支援内容の工夫と改善に努めてまいります。 ・職員間でもSNSなどを活用し情報共有を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆さまとの情報共有をより円滑に行えるよう、SNS等を含めた連絡ツールの活用と充実にも努めてまいります。また、個人情報の取り扱いには十分に配慮し、掲載内容や発信方法についても慎重に対応しております。必要に応じて同意をいただいた上で、安心してご利用いただける連絡体制の整備に取り組んでいます。
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援プログラムや保護者向けの研修・情報提供の機会についても、十分に実施できていない状況がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は日々の連絡や面談等での情報共有が中心となっており、保護者の皆さまに向けた体系的な支援や学びの機会の提供が限られている状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は保護者の皆さまのニーズを踏まえながら実施方法を検討していきたいと考えております。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・環境設定や設備面についても、子ども一人ひとりの特性に応じた配慮がより充実できるよう、継続的に見直しと改善に取り組んでまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の設計上バリアフリー化が難しい部分もありますが、子どもたちが安心して過ごしやすい環境づくりに努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の皆さまと連携しながら、お子さまの成長を共に支えていけるよう、家族支援および環境整備の体制づくりに努めてまいります。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は事業所内での活動が中心となっており、地域の施設や行事、社会資源等を活用した活動の機会が限られている状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流の機会が十分に確保できていない点が、今後の課題であると考えております 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりを大切にしながら、子どもたちが安心して社会参加できる機会を少しずつ広げていけるよう努めてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	bamboo					公表日	年月日 R8年 3月31日			
						利用児童数	36人	回収数	29人	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29					こどもたちが安心して過ごせる環境整備に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	15	1			バリアフリー化や情報伝達等への配慮については、十分ではない点もあると受け止めております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	3		3		安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29					自分らしく活動できる環境づくりを大切に支援を行っております。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1				自由に表現し、自信につなげていけるよう支援を行っております。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29					興味や発達段階に応じた支援を充実させていきたいと考えております。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29					お子さま一人ひとりの特性や発達段階、ニーズに応じた支援内容の設定を行っております。		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1				保護者の皆さまとの情報共有を大切にし、より適切で安心できる支援の提供に努めてまいります。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29					楽しみながら成長できるよう、活動内容の充実と工夫に努めてまいります。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	20	1			今後、検討していきます。貴重なご意見ありがとうございます。		
保護 者へ の説 明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29					運営規程や支援プログラム、利用者負担等について、分かりやすく丁寧な説明を行うよう心がけております。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	1				保護者の皆さまとの情報共有を大切にし、より適切で安心できる支援の提供に努めてまいります。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		2	7	20		情報提供の機会については、現時点では十分に実施できていない状況です。貴重なご意見として受け止めております。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29					今後も保護者の皆さまに安心してご利用いただけるよう、必要に応じて説明の機会を設けるなど、丁寧な対応を心がけてまいります。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29					職員間での連携や支援内容の見直し・改善を継続して行っております。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2		27	今までなかったかもしれません。	現時点では十分に実施できていない状況です。貴重なご意見として受け止めております。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1		1	SNSを活用し安心してご相談いただける環境づくりに努めております。また、送迎時や面談等を通じて、気軽にご相談いただけることについてお伝えしております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29				必要に応じて面談の機会を設けるなど丁寧な対応を心がけております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	5		1	通信やお知らせ等を通じて情報発信に努めておりますが、ホームページやSNS等を活用した発信については十分ではない点もあると受け止めております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	2			個人情報の保管や取り扱いについては、職員間での周知・徹底を行い、適切な管理体制のもとで取り扱っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	9			当事業所では、マニュアル等を策定し、安心してご利用いただけるよう体制を整備しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	7			災害や事故等の発生を想定した訓練についても定期的実施し、子どもたちが安全に過ごせるよう備えております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	6		2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27			2	保護者の皆さまとの情報共有を大切にし、より適切で安心できる支援の提供に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29				親子共にほっとしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29				通所が楽しみとなるよう活動内容の工夫や環境づくりに努めてまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29				保護者の皆さまとの情報共有や連携を大切にしながら、子どもたちの成長につながる支援を心がけております。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	bamboo				公表日	R8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数に対して職員を配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	段着についてはスタッフが適宜に対応している	視覚的観点からの配慮
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		こどもが安心してリラックスして過ごせる空間になっている（ワクワクする空間）	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて対応している	個別に活動できる空間を設けている
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員が参画している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けアンケートを実施し 各項目に対するご意見から 業務改善に対応している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議や必要に応じてSNSを利用して意見交換の場をもうけている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者委員会を選任して配置している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		確保している。オンライン研修に参加したり、毎月ワークショップを行なっている	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ等で公表していく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		送迎時に聞き取りを行っている 定期的に面談を設けて作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援会議を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎日のミーティング等で共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援項目・支援内容に組み込まれている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月プログラムの立案のミーティングを行っている	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月新たな立案を行い、子ども達の意見も取り入れている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要に応じて対応している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		引き継ぎを含め、毎日打ち合わせをしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必要に応じてSNSも利用して共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		文章と画像で記録しスタッフ全員が閲覧できるようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングと送迎時に意見交換をし見直している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		創作にとどまらずコミュニケーションやソーシャルの向上にも力を入れている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		こどもたち自身が自己選択・自己決定している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医療機関を設けている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		情報共有が十分とは言えないが送迎時に保護者様からヒヤリングを行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		保護者様からの情報を共有し、相互理解に努めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		利用に関しての記録を残しているので要望があれば提供できる	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		講演会、学習会にできる限り参加している（zoom等含め）	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		展示会を開催し交流の場を設けている	今後別の交流の場に参加していきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に意見交換を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	今後検討していきたい	保護者様からの質問や要望を発信しやすい環境を整えている
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明し理解を得られるようにしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的な面談や送迎時に聞き取りを行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画の内容を説明させていただき確認のご署名をいただいている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		SNSを活用したり、相談しやすい環境を整えている。保護者様を送迎して下さるので 毎回の利用時に意見交換をしている	定期的に面談させていただいている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	コロナ以降開催できていない	今後検討していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		児童発達管理責任者を中心に即時対応するように徹底している	契約時に説明させていただいている重要事項説明書に記載している
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやインスタグラムによるSNSで 情報を随時発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠できる棚に保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		通所時に保護者様や本人と直接対話している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		展示会を開催して地域の方々にも周知している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを ファイリングし周知している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練マニュアルを作成し 周知している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認している 定期的な面談時に再確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時や面談時にアレルギーの聞き取りを行っている	食事の提供がないため、イベントに応じて対応していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明し 理解を得られるようにしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例を記録し、スタッフ間で共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修会に参加している（オンライン含む） スタッフ間で話し合いの場をもうけている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在のところ該当児童がいないため サービス計画には記載していない	契約時に説明させていただいている重要事項説明書に記載している	